

ニュースリリース 関係者各位

2015年11月30日

一般社団法人日本電子書籍出版社協会

**日本電子書籍出版社協会（略称：電書協）**  
**国立国会図書館による電子書籍・電子雑誌収集**  
**実証実験事業の開始について**

一般社団法人日本電子書籍出版社協会（電書協）は、国立国会図書館による電子書籍・電子雑誌収集実証実験事業を受託して12月1日（火）より国立国会図書館で開始いたします。

本事業では、委託先のサーバーから送信される電子書籍・電子雑誌を国立国会図書館施設（東京本館・関西館）内の特定端末から来館利用者が閲覧することができます。

平成27年7月、同館のホームページ上で「電子書籍基盤提供及び運用管理支援作業」として、作業受託者の一般公募が行われ、電書協は、業界の意見を反映させるため、この実証実験の企画競争公募に参加しました。

電書協の目的は、①電子書籍・電子雑誌の収集や閲覧、保存に関する技術的検証を含めた実証実験を行い、様々な問題点を研究すること ②電子書籍配信ビジネス市場と今回の作業を両立させること ③書協、雑協、ほかの出版関連団体とも協力、連動し、よりよい環境作りを目指すこと、です。

本事業では、電子書店などで実際に販売されているDRM（著作権保護技術）付き電子書籍を実証実験の対象としており、12月1日（火）の開始時には、電書協加盟社が出版する約800点の電子書籍を提供いたします。

また、11月には2度の出版社向けの説明会を開催。電書協加盟社以外の出版社にも、実証実験への参加を広く呼び掛けており、書協、雑協、そのほかの出版関連団体とも協力・連動のうえ、この実証実験を進めてまいります。

以上

□ 「国立国会図書館（NDL）による電子書籍・電子雑誌収集実証実験事業について」

URL : <http://ebpaj.jp/counsel/ndl>

----- 本件に関するお問い合わせ -----  
下記宛にメールにてお願いいたします

E-mail : [info@ebpaj.jp](mailto:info@ebpaj.jp)

## 日本電子書籍出版社協会について

電子書籍を制作・販売している出版社が一堂に会し、“読者の立場に立ち”“著作権者の権利保護を前提に”健全な業界の発展をめざし、2010年2月に設立した一般社団法人です。

〔協会名〕	一般社団法人日本電子書籍出版社協会
〔所在地〕	東京都文京区音羽1-17-14 音羽YKビル8F
〔協会HP〕	<a href="http://www.ebpaj.jp/">http://www.ebpaj.jp/</a>
〔設立〕	2010年2月1日
〔代表理事〕	講談社・野間省伸
〔参加出版社〕	朝日出版社、朝日新聞出版、NHK 出版、学研ホールディングス、KADOKAWA、河出書房新社、幻冬舎、講談社、光文社、CCCメディアハウス、実業之日本社、集英社、主婦の友社、小学館、祥伝社、新潮社、世界文化社、大和書房、筑摩書房、中央公論新社、東京書籍、東洋経済新報社、徳間書店、PHP研究所、扶桑社、双葉社、ぶんか社、文藝春秋、丸善出版(以上29社)